

第 2 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日 時	令和元年 7 月 23 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所	日野市生活・保健センター2 階 グループ活動室
出席者	坪島委員長、奥住委員、金城委員、比留間委員、小平総務部長、篠崎子ども部長
議 題	<p>日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと応募者によるプレゼンテーション</p> <p>1.本日の流れ、審査手順説明</p> <p>2.審査（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと：公益財団法人 社会教育協会） 審査（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと：B 者）</p> <p>3.次回の説明</p>
議題 1	<p>● 本日の流れ説明、審査手順の説明</p> <p>事務局（企画経営課）より説明。</p> <p>(1) 日野市立みなみだいら児童館ぷらねっとの応募事業者のプレゼンテーション</p> <p>①事業者（公益財団法人 社会教育協会及び B 者）による説明 20 分</p> <p>②事業者への質疑 20 分</p> <p>③主管課（子育て課）への質疑 10 分</p> <p>④採点 5 分</p> <p>(2) 選定結果及び決定について</p> <p>次回報告する</p>
議題 2	<p>● 審査（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと：公益財団法人 社会教育協会）</p> <p>事業計画書に基づくプレゼンテーション</p> <p>=事業者への主な質疑=</p> <p>(質問) 初めて利用者が児童館に来る時の対応が難しいと思われる。その際の対応はどうしているか。</p> <p>(回答) 子供は友達のつながりで来館することが多い。乳幼児の保護者へは情報を一生懸命発信している。最近は新規で引っ越して来られる若い人たちが多く、民生委員が乳幼児向けに作っているチラシを各戸訪問の際に、持っていってもらっている。</p> <p>(質問) 民生委員と同じテーブルにつく場があるということか。</p> <p>(回答) 様々な地域の会議もあり、また、事業でも「すくすくクラブ」等に参加してもらっている。「おまつり」では民生委員コーナーなど協力、連携している。</p> <p>(質問) いつも利用している、慣れている子供でなく、引きこもりの子供への対応はどうしているか。</p> <p>(回答) スクールソーシャルワーカーや子ども家庭支援センターなどから、学校に行けないが、外に出るきっかけとして児童館を活用させてもらえないかと相談を現状でも受けている。必要に応じて丁寧に対応している。</p> <p>(質問) 事業計画書の平成 29 年度から平成 30 年度の中学生在が少し減っているが理由は</p>

あるのか。

(回答) 平成 29 年度の中学 3 年生の常連の子供がとても多く、彼らが卒業した影響が数字に表れている。

(意見) 経験と実績があり、説得力がある資料とプレゼンテーション、南平と言う名前がちりばめられて、ネットワークも見える化されている。改正児童館ガイドラインの要点にも則して事業がまとめられているのが良かった。

(質問) 昨年度の市民評価委員会で「指定管理料で賄いきれない場合は請求しても良いのでは」との意見があったが、今回は反映されているのか。

(回答) 基本的には人件費のベースアップ分を入れてある。

(質問) 利用者からの苦情に関してフロー等あるのか。意見を受ける目安箱等あるのか。

(回答) 苦情対応については市の要綱に基づき作成してあるが、ここ何年か利用者からの大きな苦情はきていない。また、入口に意見を入れられるボックスはあり、子供が直々におもちゃを増やして欲しい等の意見は来る。

(質問) 児童厚生員の職としてソーシャルワーカーとあるが、研修によって力をつけているのか、常勤 3 人はその専門性をもっているのか。

(回答) 常勤 3 名は有資格者（教員免許や保育士）で、その中で実践を通して研修を実施し、専門性を高めている。保育士資格だけでは中高生対応など戸惑ってしまうので保育士資格者、中高生教員免許資格者等バランスをとって配置しており、互いに学び、さらに研修を行って補っている。

(質問) 平成 30 年度決算報告書、決算額がとても大きくなっているがこれは何か。

(意見) 本体の日野社会教育センターが引っ越しの際に補助金が発生して、例年になく大きな額になっている。

(質問) 障害者差別解消法の個別の研修は行っているか。

(回答) 現在、研修は館内で実施している。

(質問) 大人の来館者が増えているが、子供も含めて、社会的弱者に対しての幅広い配慮について、具体的な対応をしているのか。

(回答) 子供に対しては、発達障害の対応として分かりやすい掲示などしている。それは、他の子供にとっても分かりやすい物なので使うようにしている。一緒に来る保護者には椅子など用意して配慮している。車椅子の方には階段昇降機の利用したこともあった。ケースにより職員が直接対応することもある。最近、外国籍の保護者もいるので、大事な所には英語と中国語の表記もしている。

(質問) 英語、中国語を話すことができる職員はいるのか。

(回答) 英語を話せる職員はいる。中国語は翻訳アプリなどを使って対応している。

(質問) 立地的に制約がある中で利用者が増えていることは評価できるが、具体的に制約がある中で子供達への対応で考えていることはあるのか。

(回答) 学校行事に顔を出すことを心掛けている。館長だけでなく、職員も行っており、学校公開や運動会、音楽会、発表会等へ行き、児童館の職員が顔を見せては、子供達に児童館を思い出してもらい、来館してもらっている。

- (質問) 移動児童館は行っているのか。実施しているならばその成果はどうか。
- (回答) 実施している。遠い地域に住んでいる子供達はランドセルを一度置いてから児童館に来ることができないことを考慮して実施している。移動児童館では、児童館では見かけない子供も参加してくれており、遠方の子供への対応として目的は達成させられる。一方、参加者の半数は、既に児童館に来ている子供というのが実情もある。
- (質問) 収支計画書で人件費のベースアップが2年ごとになっている理由は何か。
- (回答) 本体の中では2年ごとのベースアップとしている。
- (質問) 外部からの安全対策について、日頃から気を付けていることは何か。
- (回答) 地区センターが併設されており、外部利用者が多いので、入口で来館者には必ず声をかけている。地区センターの利用者なのか、業者なのか、子供のお迎えの方なのか確認している。
- (質問) 駅に看板がつかないかと、歴代の委員からの意見もあるがどうか。
- (回答) 駅からすぐ出た場所の設置は鉄道会社に断られてしまっている。難しいが対策は考えていきたい。
- (意見) 南平の地域資源をつかった事業があるのは良い企画だと思った。来館目標者が500名増えているが根拠は何か。
- (回答) 利用者を年代別にカテゴライズして、一日これくらい増やしたいと思って目標を立てた。現状では昨年度より増えているので到達可能と思っている。

= 主管課への主な質疑 =

- (質問) 児童館という名称は設置法があるのか。児童とあるとその名前の影響で中高生には使いづらいのではないか。
- (回答) 愛称等違った名称を付けている施設は多くある。児童館という名前を出さなければならぬ決まりはないが、児童福祉法で定められた名称であり補助金等は児童館で請求することになっている。
- (質問) 入館者数で比較しがちになるが、日野市全児童館では入館数については、どのように考えているのか。
- (回答) 全体について、児童館利用者数は落ちており、落ちた理由は考えるようにしている。みなみだいら児童館は評議会を持ち、PDCA サイクルを実行している。公設公営の児童館でも利用者数への意識はするように伝えてはいる。ただ、福祉施設なので利用者数の数だけで争うことはない。市民へ公平なサービスの提供や常に努力はする姿勢は重要だと考えている。
- (質問) 事業経費を節減することのプレゼンテーションではないのか。
- (回答) より少ない費用で効率的に事業をして、最大限の効果を出す考えはあるが、金額の削減だけを目的するより、より良いサービスを提供して欲しいと考えている。
- (質問) 安全面として、防犯カメラ等、行政としてのハード面についてはどうか。

(回答) 玄関に防犯カメラ、学校 110 番、民間事業者の通報システム、全児童館と学童クラブで共通の防犯の合言葉等ある。

● 審査（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと：B 者）

事業計画書に基づくプレゼンテーション

=事業者への主な質疑=

(質問) 幅広く事業をしているためか、登記簿の中に「児童館」という言葉が表記されていないのは何故か。また、自主事業の計画書が 5 年間全部一緒なのは何故か。年度によって違いがあるはずで、特徴が見られない。

(回答) 確かに児童館という表記はないが、現在 7 施設（児童館）をしっかり運営させて頂いている。また、自主事業計画書は、現段階では事業を開始していないので統一した内容としている。年度によって子供の状況は変わるので、様子を見ながら計画を立てていきたい。

(質問) 同じ事業者の近隣施設からの応援があるとのことだが、職員と関係ができてるので、利用している子供（不登校の中学生等）に、他施設から急に来た職員では対応するのは難しいのではないかと。

(回答) 現在、受託している法人様より見積金額が高く設定されているのは、常勤職員が多いからであり、基本的には常勤職員がおり対応する。不測の対応の際に、近隣施設からの応援が来ると考えてもらえたら良い。

(質問) 不登校や遊びに来られない子供への対応はどう考えているのか。

(回答) 学校など関係機関としっかり連携をとり、その中で児童館としてどういった対応ができるか模索して対応したい。

(質問) 「児童支援員」という言葉を使っているが「児童厚生員」を使わない理由はあるのか。

(回答) 学童クラブの運営が多く、便宜上、「児童支援員」として使わせて頂いている。

(質問) 障害者差別解消法ができ、現場では実際に様々な事例があると思う。合理的な配慮が対応できた事例と、対応できなかった事例があると思うが具体例を教えてください。

(回答) 学童クラブの事例になるが、平均より身長が低いと言う課題のある子供がいて、ステップを取り付けた。館長や行政にも入ってもらい対応した。

(質問) 南平の地域性を考慮した提案がプレゼンテーションに見られなかったが、地域性からの提案は何かあるのか。

(回答) どの地域でも一定水準レベルの運営をするのが我々の特徴である。詳細の運営についてはこれから勉強していく。中高生の割合が多いのが分かる。また、不登校など課題も、質問にあったように存在すると思われる。臨床心理士が社員としており、マンパワーとして、みなみだいら児童館の運営に活かしていけると考えている。

(質問) 日野市で展開する意味合い、日野市の特徴はどこにあるか聞きたい。

- (回答) 日野市では「地域子ども家庭支援センター多摩平」、病院内での保育所を運営している。地域としてもこれから発展していくところ、古くからいる地域の方と新しく来られた方とどのようなコミュニティを作っていく段階かと考えている。その中で児童館として、ネットワークづくりや保護者同士の関係を作ったりしたい、講座や相談がしっかりできる職員がいるので対応する。
- (質問) 日野に子供達がどうやって愛着をもってくれるかが大事だと感じている。どのような対応を考えているか。
- (回答) 私達もテーマにしており、子育てを終えて、しっかり社会に出て、また日野に戻ってきてくれる行事を行っていきたいと思っている。
- (意見) 日野市の地域への取り組みを勉強されたかと思うが、「地域サポーター制度」などあり、地域を語る時、行政との連携と語る必要があるかと感じた。
- (質問) ボランティアの育成について、受入れでなく、育成していく等、仕掛けていくようなことは考えていないのか。
- (回答) 児童館では乳幼児から来館しているので、小学生以上の子供に、来館している乳幼児に読み聞かせを行うボランティアを募集して育成していきたい。
- (質問) 外部からの不審者対応について具体的な対応策として、日常の対策はどのようにするのか。
- (回答) 不審者対策としては、警察に依頼し、不審者対策の講座を職員向け、利用者向けに実施してもらえないか考えている。
日常の対策は、入口で不審者がいないか確認し、定期的な巡回をして、利用者の様子を見ながら体制を整えている。
- (質問) 地域との関わりの中で具体的な対応は考えているか。
- (回答) 小学校、中学校、町会の会議になどにも参加させていただき、町の中で取り組みをしている所で、お手伝いがあればさせていただきたい。
- (質問) 現在、児童館を 7 か所で運営しているとあるが、学童クラブと児童館が一体で契約している中での実績か。契約は別々になっているのか。
- (回答) 児童館だけで契約が 1 本になっている所と、学童保育所と一体の所と契約により、それぞれ違っている。
- (意見) 契約が決まったらすぐにでも、事業をスタートできるようにしてもらわないと、現在、児童館を使っている利用者は困る。また、日野には日野の地域性を活かした取り組みが必要だと思う。
- (質問) 収支計画では法人経費が高いように感じるが、全国的にどの地域でも同じなのか。
- (回答) 基本的には同水準で契約させていただいている。費用については、本部の人件費、職員研修や採用経費が高騰していることもあり、そういった金額設定をしている。

<p>議題 3</p>	<p>=主管課への主な質疑=</p> <p>(質問) 事業者説明会では、児童館の概要などの資料や情報提供はどのように行ったのか。</p> <p>(回答) 事業者説明会は平等に行った。5 者の参加があり、質問に対しても全ての事業者に同じ回答を送った。見学説明会では事業概要と年間利用者数の資料を渡してある。</p> <p>(質問) ダイバーシティ等、児童館として課題は出ているのか。</p> <p>(回答) 課題は出ている。障害が重度化しており、必ずしも全部対応できていない。多言語表記も課題である。ハード面についても、段差の解消等課題がある。</p> <p>● 前回採点結果報告、次回の説明</p> <p>事務局（企画経営課）より説明。</p> <p>次回選定委員会について</p> <p>日時 令和元年 8 月 6 日（火）13:30 から</p> <p>場所 市役所 5 階 504 会議室</p> <p>次回に向けたお願い</p> <p>～第 2 回日野市指定管理者候補者選定委員会（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと）終了～</p>
-------------	---